

## 研究課題：CT・MRI データによる生体モデルの作成と手術シミュレーションの構築に関する研究

### 1. 研究の対象

名古屋大学で術前に画像検査(CT・MRI)を施行された対象疾患(食道閉鎖症・胆道閉鎖症・胆道拡張症・横隔膜ヘルニア・ヒルシュスプルング病)のあるすべての患者

### 2. 研究目的・方法

以前当科で施行された患者のCT・MRI データを基にした生体モデルを作製することで、より安全な低侵襲手術を提供する。現在、小児外科領域の希少疾患の手術では手術手技の習得が非常に難しい状況にある。本研究では術前に患者のCT・MRI データを基にした生体モデルを作製できる。疾患毎のCT・MRI データを基にしているため、生体モデルを使用した実際の手術をシミュレーションすることが可能となる。術前に患者CT・MRI データを基にした生体モデルを作製し手術シミュレーションを行うことで、患児に、より安全な低侵襲手術を提供することができる。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

名古屋大学で術前に画像検査を施行された対象疾患(食道閉鎖症・胆道閉鎖症・胆道拡張症・横隔膜ヘルニア・ヒルシュスプルング病)のあるすべての患者のCT・MRI 等の画像データ等を使用する。

### 4. 外部への試料・情報の提供

#### ① 提供元及び提供先の機関の名称(共同研究機関・試料等提供機関リスト)

名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学  
東京大学大学院医学系研究科小児外科学  
三菱プレシジョン株式会社  
サンアロー株式会社

#### ② 提供元及び提供先機関の研究責任者氏名(共同研究者・試料等提供者リスト)

内田広夫(名古屋大学)、藤代 準(東京大学)、長坂 学(三菱プレシジョン株式会社)増山秀徳(サンアロー株式会社)

#### ③ 試料・情報の項目

治療上必要とされた患者の術前の画像データ(CT/MRI)を使用する。

④ 試料・情報の取得の経緯

倫理委員会の承認後に手術シミュレーション構築の研究目的に使用する。

⑤ 対応表の管理方法(インフォームド・コンセントを取得しない場合のみ)

各施設の研究責任者が適切に管理を行い外部への提供は行わない

## 5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学

東京大学大学院医学系研究科小児外科学

三菱プレシジョン株式会社

サンアロー株式会社

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 小児外科学

(052) 741-2111 (代表)

研究責任者:内田 広夫